

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 荻窪
法人名	AIAI Child Care株式会社
法人所在地	杉並区荻窪5-15-21トライアード2階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界の国

<テーマの設定理由>

世界についての図鑑に興味を持ち、自由遊びの際に国旗の絵を描いて楽しんでいたりと、世界の様々な国の文化や自然・食べ物・服装について発見があると、もっと知りたいという反応があり、非常に興味関心が高かったため。

2. 活動スケジュール

子どもたちの遊びの姿を観察、また言葉に耳を傾け、その様子を踏まえ興味関心にあった活動を考える。新たな発見や学びに繋がるような環境を設定し、実施、活動中の様子をドキュメント化する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

国旗・世界の探求・生物などの図鑑を本棚に設置。
クイズプリントを自由遊びに取り入れる。
幼児プログラムココロリング活動。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

6～8月：どんな模様やデザインの国旗があるのか、その国旗にはどんな意味があるのか知ってみよう。

9.10月：世界にはどのくらいの国があるのか、どこにあるのか知ってみよう。

11.12月：各国の言語に触れ、挨拶など日常生活に取り入れてみよう。

1～3月：どんな物を食べて、どんな服を着てるの？どんな動物がいるの？日本と違うところは？友だちと話し合ったり図書館に行って調べてみよう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

友だち同士で一緒に図鑑を見て「なんでだろう」「行ってみたいね」と気づきを共有しながら話し合ったり、共感する様子が見られた。

新たに知った言語やジェスチャーを使って友だちや保育者とコミュニケーションを楽しんだり、他にももっと知りたいと興味津々で保育者に伝えてくる姿もあった。

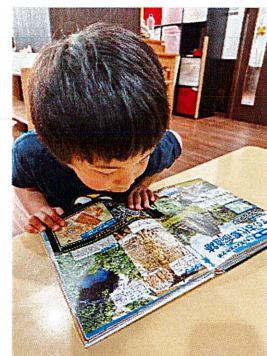
【手作り国旗図鑑製作】



【国旗クイズ】



【世界の探検図鑑】



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが興味関心があることに、保育者が環境設定することで、子どもたち主体で新たな発見や学びが得られ、そこから次なる遊び・活動へと展開していく。保育者が1人1人の気持ちに寄り添い共感することで、子どもたちは喜びと意欲を持ち世界を広げていくように感じた。

それぞれが持った疑問や気づきを持ち寄り、友だちと話すことで、子どもたちの対話の中で小さなアイデアが生まれ発見に導かれることが多く、交友関係も深まっていった。1人でじっくり考える時間とグループで活動する時間をバランス良く日常に取り入れていくと、子どもたちの可能性がより広がっていくように感じる。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 荻窪
法人名	AIAI Child Care株式会社
法人所在地	杉並区荻窪5-15-21トライアード2階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜

<テーマの設定理由>

食育の中で、野菜を観察したり実際に触れて親しみを持つことで、興味関心へと繋がり、そのことで給食でも食べてみようという意欲に繋がる姿が見られていた為。

2. 活動スケジュール

給食の献立にある野菜を取り入れて食育計画を立て、都度振り返りを行う。
子どもたちの反応や取り組む姿を観察し、また言葉に耳を傾け、その様子を踏まえて興味関心にあった活動を計画する。新たな意欲や展開に繋がるような環境を設定し、実施、活動中の様子をドキュメント化する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

もやし・しいたけ栽培キット、野菜、クッキングに必要な道具
調理職員も参加し絵本やクイズなど興味を示す導入により、野菜に触れる活動を実施した。
また、栽培に於いては子どもたちがいつでも観察できる場所に設置し、成長や変化に気付いたり愛着が持てるよう工夫し、環境作りをした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5月：もやしを栽培してみよう

6月：この野菜なあんだ？(はてなボックスの感触遊び)

8月：すいかわり

10月：買い出しからカレー作りをしよう

11月：しいたけを栽培してみよう

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

普段、料理の中に切った形で入っている野菜しか知らない子もいて、形・感触・育ち方・売られ方など、驚く姿が見られた。また、給食の時間に「これ育てた野菜だね」「おうちでも食べた」など野菜に関する会話を子どもたち同士でしていた。野菜への苦手意識や興味がなかった子も、触れたり育てる経験から親しみや愛着を持ち「おいしい」と食べ、保育者が共感することで嬉しそうな表情を見せていた。もっと活動に取り入れたいと興味津々で保育者に伝えてくる姿もあった為、子どもたちの主体性を大切にしながら、食育計画を立てていきたい。

【調理中の様子】



【買い出しの様子】

【しいたけ・もやし栽培】



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めは野菜が育つ前・切られる前の姿に驚きや不思議そうな表情を見せたり、戸惑う子がいたが、保育者や調理職員が先に触れることで安心して触れていた。食材を栽培するところから食べるところまでの一連を体験することが、苦手な野菜の克服へと大きく繋がっていた。また、幼児クラスが栽培活動をする様子を見て、2歳児も興味を示した為保育室で栽培を行ったところ、日々嬉しそうに世話をし、発見や気づきを嬉しそうに話したり、野菜克服へと繋がっていた。園生活での周りから良い影響を受ける環境を活かし、気持ちに寄り添った活動をしていきたい。

経験を重ねていくと、子どもたち同士で野菜を取り入れたクッキングがしたいと共感しあう会話があった為、何を作るか・何が必要かを話し合っ購買しに行き、クッキングを実施した。展開されていく活動の中で、友だちと共に行うという面も非常に探求心が深まっていくように感じる。今後も、子どもたちが成長していく中で、主体性を大切にした活動を充実させていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 荻窪
法人名	AIAI Child Care株式会社
法人所在地	杉並区荻窪5-15-21トライアード2階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

形・大きさ

<テーマの設定理由>

自由遊びの中で、身の回りの色々な物に興味を持ち、同じ形を見つけると大きさを比べてみたり、繋げたり分解して、できる形を楽しみ探求活動をしている姿があった為。

2. 活動スケジュール

形・大きさへの体感プログラムの導入素材の一つとして、Break it KidsやIQパズルを使用し実施。季節の製作や遊びの中で、形や大きさを創意工夫しながら自由に取り組めるよう子どもたちのアイディアや疑問に耳を傾けながら環境を整えて実施。活動中の様子をドキュメント化する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

IQパズルの形に関するテキスト教材(積み木、図形プレートなど)を常に設置し、興味関心をもって主体的に探求心を深め、養えるような環境作りをした。
廃材などで自由に形や素材を選択し、組み合わせて製作できるよう設置。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

6月：形・大きさにはどんなものがあるか知ってみよう。

7月：身の回りにはどんな形があるか見てみよう。

8～12月：立体が少しずつ複雑になる問題に挑戦したり、パズルを使って形を作ってみよう。

1～3月：図形を切ったり繋げて、作品を作ってみよう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

自由遊びの際の積み木やブロック・廃材製作に於いて、自分が頭で描いてるものを実際に立体で作ることができたとき、非常に嬉しそうに友だちや保育者に見せていた。どうしたらこの形ができるかを考え探求し、必要なものを友だちや保育者と話し合っていた。徐々に細部まで工夫された作品になっていたり、立体の仕組みが活かされた作品に感心させられるほどだった。次第に作品を見立て遊びの中に取り入れたり、友だちとアイディアを出し合いながら創意工夫してユニークな作品を作りだしていた。

【図形パズルの様子】



【廃材製作の様子】



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

テーマは形・大きさであるが、主体的な活動の中で自分の気づきや知識を友だちに伝え、共に認め合うという経験が、交友関係を深めていくことにも繋がり成長が見られた。見本や正解を設けない活動をすることで、創造を自由にし、子どもたちの発想力・探求心をより引き出した。子どもたちが自由に”選択”できる環境の中で主体性を持って遊び込める環境を今後も整えていきたい。